



雁来紅群雀図 1813
(大分市美術館蔵)重要文化財

若き日の田能村竹田展

—文化年間を中心に—

平成24年1月6日〔金〕～2月19日〔日〕

休館日 第1月曜日を除く月曜日(月曜日が祝日の場合は、その翌日)
開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
観覧料 一般 600円(500円) 高校生・大学生 400円(300円)
中学生以下は市内、市外を問わず無料

※()内は20名以上の団体料金です。
※右記観覧料でコレクション展(常設展)も併せてご覧いただけます。
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳提示者とその介護者は無料です。
※本展は「大分市美術館年間パスポート」がご利用いただけます。



大分市美術館
OITA ART MUSEUM

〒870-0835 大分市大字上野865番地
TEL097-554-5800 FAX097-554-5811
ホームページアドレス
<http://www.city.oita.oita.jp/>から大分市美術館へ

若き日の葛藤、詩画への情熱



①



②



③



④



⑤

- ①寒林帰樵図 1806 (出光美術館蔵)
- ②四季花鳥図(第3図) 1809 (大分市美術館蔵)重要文化財
- ③石田法山水図 1808 (個人蔵)竹内康訓撮影
- ④河豚図 1796 (竹田市立歴史資料館蔵)
- ⑤榮貴万年図 1811 (大分県立芸術会館蔵)竹内康訓撮影

田能村竹田(1777-1835)は、文化・文政期から天保期に至る、わが国南画の隆盛期を支えた中心的画人です。

豊後国岡藩(現竹田市)の侍医の家に生まれた竹田は、藩校由学館に儒者として仕えましたが、文化8(1811)年に起こった百姓一揆に際し、2度にわたって「建言書」を藩に提出して容れられず、これを契機に、文化10年(1813)年、37歳で隠居しました。

こうした一官僚としての現実と、脱俗への憧れとの狭間で葛藤を続けた前半生で、竹田は詩学の世界に向かい、一方で本格的な画を志して、優れた花卉・花鳥画を描き、独自の山水画にも取り組みました。

これらの画には、隠居以後の文人生活の中で、文政後期から天保初期に確立する、いわゆる「竹田様式」の前提がみとめられる一方で、20歳代で稿をおこした画論『山中人饒舌』のほか、様々な著作や書簡に吐露された、若き日の竹田の芸術観や揺れ動く心が、その筆致と色彩に宿り、この時代特有の新鮮な魅力を放っています。

本展では、文化年間を中心に、竹田の青年期に改めて焦点をあて、画風を整理し、その変遷をたどるとともに、同時代の竹田の著作物や書簡などの資料のほか、竹田の前半生を支えた地元の師友たちの作品も併せて展示します。

講演会 | 聴講無料

平成24年1月21日(土)午後2時～3時30分

講師 古賀道夫氏 (大分県立芸術会館主幹学芸員)

場所 ハイビジョンホール

定員 80名(当日先着順)

展示解説 | (観覧料が必要です)

会期中毎週水曜日 午後2時～(30分程度)

解説 当館職員

場所 企画展示室



交通案内

バス

JR大分駅北口「大分駅前3番」のりばから
大分バス(大分市美術館)行 約10分下車すぐ

タクシー

JR大分駅北口から約10分

車

大分自動車道／大分ICから約10分

お得に! 1年間何度でも楽しめる 大分市美術館年間パスポート

ぜひご利用ください
・一般2,400円・高大1,600円・ペア4,000円
・パスポート60(60歳以上)2,000円



大分市美術館
OITA ART MUSEUM

〒870-0835 大分市大字上野865番地
TEL097-554-5800 FAX097-554-5811
ホームページアドレス <http://www.city.oita.oita.jp/>